

部活動地域展開レポート VOL.4

主役は君だ！



学校部活動から地域クラブへ!! 最新情報をお届けします。(2026年7月24日発行)

地域が育む音楽の未来

～はつかいちジュニア弦楽合奏団“NO・ZO・MI”～

はつかいち文化ホール ウッドワンさくらぴあを拠点に活動する

「はつかいちジュニア弦楽合奏団“NO・ZO・MI”」は、2019年に結成されました。

これまで東京藝術大学元学長・澤和樹氏をはじめ、

NHK交響楽団コンサートマスターの長原幸太氏ら日本を代表する音楽家から直接指導を受けるなど、

子どもたちは質の高い音楽環境の中で成長しています。

濱本恵康館長は、「プロの育成だけが目的ではなく、仲間と協力する喜びを学び、将来は地域で音楽文化を支える人材へ育ててほしい」と話します。

部活動の地域展開では、スポーツだけでなく文化活動も重要な柱です。

地域には、子どもたちの可能性を広げる力があります。

“NO・ZO・MI”は、その可能性を音楽で実現している地域文化部活動の先進モデルと言えるでしょう。

なお、ウッドワンさくらぴあは、“NO・ZO・MI”をはじめ、自主公演や平和コンサートなど地域に根ざした文化芸術活動が高く評価され、2022年度「地域創造大賞（総務大臣賞）」を受賞しています。



メディアが注目！ 部活動地域展開の現在地

テレビ新広島で特集！ ～部活動地域展開の今と未来～

7月13日放送のテレビ新広島『TSS ライク！』で、「部活動が変わる！子どもたちの未来は？」をテーマにした特集が放送されました。約20分間にわたり、広島県教育委員会をはじめ、坂町や廿日市市の取組みが紹介され、部活動地域展開の現状や今後の方向性、課題について分かりやすく伝えられています。

番組では、広島大学大学院 人間社会科学研究科の齊藤一彦教授がスタジオで解説し、少子化や教員の働き方改革を背景とした地域展開の必要性や、その実現に向けたポイントについて紹介されています。

部活動地域展開は、子どもたちの活動機会を将来にわたって守るための大切な取り組みです。

ぜひ番組をご覧ください、これからの部活動のあり方について考えるきっかけにしてみてください。



(前編) ニュース動画 (後編)



【今月の一言】“水分補給は最高のコンディショニング”

2026年サッカーワールドカップでは、前半・後半の途中に3分間の「ハイドレーションブレイク（水分補給時間）」が導入されています。昭和の部活動では「練習中に水を飲むな」と言われた時代もありました。しかし現在は、こまめな水分補給が熱中症予防やパフォーマンスの維持に欠かせないことが医学的にも明らかになっています。暑さが続くこの季節。練習中はもちろん、普段の生活でも意識して水分を補給し、元気に夏を乗り切りましょう！

のどが渇く前の一口が、熱中症予防の第一歩です。 藤森コーディネーター（元サッカー公認C級ライセンス指導者）



学校部活動から地域クラブ活動へ！

土曜・日曜の部活動は、令和10年度中に地域での展開を目指します。

部活動
地域展開

お問合せ

〒738-8501 廿日市市教育委員会
教育部 学校教育課

0829-30-9207

gakkokyoiku@city.hatsukaichi.lg.jp

